

国体に備え設備充実を

身体障害者用トイレも検討

問 本町で初めて開かれるいわて国体に備えて、町民総合運動公園野球場の大規模改修工事を行っているが、大きなイベントを行うときはトイレの確保が重要である。現在のトイレで対応できるのか。より多くの人が観戦できるように、バリアフリーとして身体障害者（車いす用）のトイレも必要ではないか。

佐藤町長 利用者の利便性などを考慮し、トイレの簡易水洗化や管理棟内に身体障害者用トイレを設置するための改修工事を27年度に検討したいと考えている。また、国体開催期間中に現在の施設で不足する場合は仮設トイレ等に対応していく。



吉川淑子議員
(政和会)

危険ドラッグ・児童虐待・ 特殊詐欺対策は

警察・金融機関と連携

問 危険ドラッグ・児童虐待・特殊詐欺等はテレビ・新聞等で毎日のように報道され、大きな社会問題となり広がりを見せている。本町のここ1年間の実態はどうか。件数・状況・対策は。

町長 山田交番所によると、危険ドラッグ所持等での検挙や、特殊詐欺により現金をだまし取られた被害届はこれまでに無いとのことである。

児童虐待については、児童を施設に保護した件数は2件、虐待の疑いは6件である。内容は身体的なもの4件、心理的

なものが3件、育児放棄が1件である。

対策として、要保護児童対策地域協議会や個別のケース会議を通じ、関係機関が情報を共有し連携しながら、家庭や子供に必要な支援を行っている。併せて児童虐待防止講演会を開催し、啓発に努めている。

特殊詐欺被害防止の取り組み、対策の状況については、広報やまだに被害防止の記事を掲載し注意喚起を図ったほか、特殊詐欺と思われる不審な電話等の情報が入れば、速やかに防災行政無線で

広報するなどの対策を講じている。

山田交番所では、金融機関の窓口にある「お金を守るアンケート」に記入してもらい、詐欺が疑われる場合は即対応することとしており、町内において未然に防いだけ

スもある。

宮古警察署では、老人クラブ等で寸劇を交えた特殊詐欺防止の出前講座を行うなど、啓発活動を行っている。今後も警察や金融機関等と連携して、特殊詐欺被害防止に努めていく。



特殊詐欺が問題となっています
(岩手県警のホームページより)

その他の質問

◆拠点施設整備計画について

◆災害公営住宅の整備について

◆御蔵山の利用計画について

◆子ども交流センターについて